

■各部の名称と動作説明

① POWER/GATE TIME

電源と周波数カウンターのゲートタイムを設定するスイッチです。
OFFの位置で電源が切れ、FAST及びSLOWの位置で電源が入り本機が動作します。
周波数表示の分解能がFASTの位置で10kHz、SLOWの位置で1kHzに設定されます。

② 周波数表示

LEDにより、6桁の数字と小数点を表示します。
電池が消耗すると小数点が点滅を始めます。

③ OVER

周波数表示が6桁をこえたときLEDが点灯し、オーバーフローしていることを知らせます。

④ 信号入力端子

信号の入力端子です。付属のアンテナや信号の入力ケーブルを接続して測定します。

⑤ 測定メーター

測定値を指示するメーターです。⑨のメータースイッチがdB側にあるとき、メータースケール上側のdBスケール。SIG側にあるとき下側の10分割目盛をお読み下さい。

⑥ アッテネーター

アッテネータースイッチです。0の点ではスルー、10の位置で-10dB、20の位置で-20dBとなります。測定する信号が強すぎるとき使用します。(入力信号が大きすぎると誤差が発生します。又、2GHz以上の周波数では誤差大となります。)

⑦ フィルター切替スイッチ

フィルター切替スイッチです。AをONにすると約90MHzのローパスフィルターが入ります。

BをONにすると、100~170MHzのバンドパスフィルターが入ります。

CをONにすると、約330MHzのハイパスフィルターが入ります。

全てのスイッチがOFFの時、スルー状態(10M~2.5GHz)になります。

(A、B、Cのフィルターには通過損失がありますので、指示値が変化します。⑧の可変アッテネーターで補正して下さい)

⑧ セットアッテネーター

メーターの指針を0dB、又はSET点にセットするための連続可変アッテネーターです。(入力信号が大きすぎるとセットできなくなります。又、2GHz以上の周波数では調整幅が狭くなります。)

⑨ メーター切替スイッチ

メータースケールをデシベル(dB)目盛で表示させるときはdB側にし、高感度で弱い電波信号の増減を見たい時はSET側で測定します。

⑩ イヤホン端子

イヤホン端子です。付属のイヤホンを接続して、信号の有無を確認するための端子です。(AM検波出力が出ています。)

⑪ 電池ボックス(背面)

単3型乾電池6本を収納します。

⑫ EXT. DC INPUT(上面)

外部電源を使用する場合の入力端子です。8V~12Vの電圧で300mA以上の電流が取れる電源を使って下さい。

